

久山中学校だより

令和6年10月1日発行 第7号

地域貢献の教育活動の実現に向けて ～3学年防災教育の実施～

学校運営協議会や区長様との情報交換会で、地域防災に係る中学生への期待の大きさを感じていました。そこでまず、本校でも、中学生の地域防災への関心を高めるとともに、学校として中学生にできることを整理することから始めたいと考え、9月2日（月）に3学年防災教育を実施しました。この日はNHK福岡放送局のアナウンサーで、防災士でもある廣瀬雄大様を講師にお招きしました。実際に、アナウンサーの道上美璃様にスタジオとのオンラインで紹介いただきながら、NHK福岡放送局の防災放送の仕組みを学びました。そして、久山町のハザードマップを基に、大雨によりどこでどのような被害が発生するかを考え、家族や仲間、地域の方に向けた避難の呼びかけのシナリオを作成しました。呼びかけの発表や協議を通して、住民の正常性バイアスをいかにして解くかを真剣に考えることができました。相手との人間関係や距離感の遠いによって口調を変えたり、「まずは～、次に～」というように具体的に指示を出したり等、呼びかけ方を工夫する3年生の姿から、久山町の一員としての自覚も高まっていると心強く感じることができました。



講師の廣瀬雄大アナウンサー



生徒による発表の様子

家庭連携の教育活動の充実 ～保護者と学ぶ規範意識育成事業の活用～

毎年本校では、本県「保護者と学ぶ規範意識育成事業」のご支援を受け、1学年を対象に規範意識育成に係る講演会を実施しています。「ルールやマナーを守りたい」という生徒の規範意識を醸成することは、教育活動の基盤づくりと捉えています。

本年度は、9月7日（土）の土曜授業の日に、NPO法人子どもとメディアの是石尚子様を講師にお迎えし、「スマホ・インターネットの使い方」という演題でご講話いただきました。是石様はこれまで県内の子供を取り巻く様々なメディアのトラブルを取り扱ってこられました。その経験を基にしたご講話ということもあり、1年生は真剣に聴き入っていました。SNSをはじめこれまでの自らのネットとの関わり方を振り返る貴重な学びとなりました。

また、この日は全学年から約20名の保護者も来校され、講演に参加いただきました。SNSに係るトラブルは、近年増加傾向であるとともに、子供の学力定着の阻害要因ともなるという結果も指摘されています。トラブルを未然に防止し、お子様のより良い自己実現を図るには、学校と家庭で連携した取組が必要です。ご家庭でも改めて話題に取り上げていただき、ルール等を確認していただきますようお願いいたします。



保護者と学ぶ規範意識育成事業講演会の様子

糟屋区中学校PTA研修会のご報告

9月7日（土）にクリエイト篠栗にて糟屋区中学校PTA連合会主催の研修会が行われました。講師には、学校法人立花高等学校校長の齋藤真人様が招かれ、「『いいんだよ』は魔法の言葉～寛容の精神が醸成される社会へ～」という演題でご講話いただきました。本校からも多くの会員の方が参加されました。長年不登校自立支援に取り組まれてきた先生は言われます。「皆で同じでなければならない、一致団結しなければならないという『当たり前』が一定の枠に入れない子供の居心地の悪さを生んでいるのではないか」「同じサイズのおにぎり同様、異なるサイズのおにぎりも尊い」と。ご出身の宮崎弁での温かいご講話が多くの方の心に届いたことを実感しました。内容は著書にまとめられています。売上げは校内就労支援施設の運営に役立てられるとのことです。趣旨にご賛同いただける方はお買い求めください。



齋藤真人様のご講話の様子

久中生の努力を称えて

9月21日（土）に糟屋区中学校英語スピーチコンテストが開催されました。本校代表の3年2組内山璃音さんはジェスチャーを効果的に取り入れ、表情豊かに卓越したスピーチを披露し、見事1st prizeの榮譽に輝きました。内山さんは11月16日（土）に開催される筑前地区大会に出場いたします。



表彰後の様子

歴代PTA会長、校長の会「育寿会」のご報告

本校では毎年歴代PTA会長、校長の会「育寿会」を行い、学校経営やPTA活動についてご助言いただいています。本年度は9月7日（土）に実施しました。授業参観及び校内視察では、国際化に向けたオールイングリッシュの時間の設定、協働的な学びの推進、挨拶の更なる励行、施設の安全性の向上等についてご意見をいただきました。PTA活動については、生徒も交えたPTA活動の実施をご助言いただきました。

尚、本会をもってこれまで会長を務められた第12代校長の東好男様が退任され、新会長に第19代校長の吉永春男様が就任されましたことをご報告いたします。長年ご尽力いただいた東様に心から感謝申し上げます。



ご退任の挨拶をされる東様

幼・小・中連携の道徳教育の推進 ～道徳教育実践交流会の実施～

本町では毎年町立幼稚園、小・中学校の教員が道徳科の授業を参観し、研修を積む「道徳教育実践交流会」を実施しています。本年度は本校主管で、9月19日（木）に実施しました。道徳科授業における「葛藤、対話や交流活動」を工夫することで、子供が自らの道徳的価値を「強化・付加・修正」することを主題に、本校全学級担任が授業を構想し、公開しました。

続く、協議会では、幼・小の教員の皆様と共に指導方法について考えたことで、新たな授業モデルを共有することができました。また、講師にお招きした福岡教育大学非常勤講師の青木晃司様からは、道徳科授業の授業構想と授業運営についてご講演を賜りました。実践的な内容に、町内全教職員が食い入るように傾聴する姿がありました。この日の成果と課題を幼・小・中全体で共有し、引き続き授業改善に努めてまいります。



道徳実践交流会の各場面の様子

プラチナ未来人材育成塾参加のご報告

例年、本町の手厚いご支援を受け、本校から3名程度の生徒が東京都で開かれる研修会に参加しています。この目的は、プラチナ社会（「エコロジーの実現」「資源の持続可能な開発」「雇用の創出」等）の実現に寄与する未来のリーダーを育成することです。本年度は、3年の窪川英二さん、2年の井上空翔さん、1年の浦川愛菜さんの3名が面接を経て参加者に選出されました。

3人は、8月3日（土）に何を学ぶかを町長に報告し、8月8日（木）～11日（土）に東京都市大学世田谷キャンパスでの研修会に参加しました。9月4日（木）には町長室を訪問して町長に研修の成果を報告し、これからの抱負を述べました。他の都道府県の同年代の若者と交流し、切磋琢磨した甲斐があり、3人は専門的な知識と様々な思考法を駆使してこれからの久山町のために自分ができることを主張することができました。その物怖じしない、堂々とした報告の様子から、改めて、仲間と協働的に学ぶことの良さや知識を磨くことの大切さを実感できたと確信しています。3人の主な主張を紹介します。



プラチナ未来人材育成塾の様子



町長室訪問の様子

1年2組 浦川愛菜さん

夢はシンガポールに行ってゴミが落ちていない文化を久山町に取り入れることです。シンガポールではその取組を街の人に聞いてみたいです。また、「技術の時間に久山の木でゴミ箱をつくる」で使用する木を町長さんからOKをもらって作り出したいです。そのゴミ箱を街に置いて役立てたいです。

2年3組 井上空翔さん

実際に自分ができることは限られていますが、やはりリサイクルしたり、ゴミ分別をしたりすることが挙げられます。例えば、飲み干したペットボトルのキャップを外す。シャンプーは詰替用を買い容器を再利用する。ゴミ分別の種類毎のゴミ箱を用意する。地域のゴミ資源回収ボックスを利用するなどです。

3年3組 窪川英二さん

どの立場で役立つかを考えました。行政には治安、消防、水道、交通、教育、文化、税務などがあり、そこで町を支え人々の笑顔を守るのも良いと思います。また久山のきれいな水を生かし、商品化する仕事や町をアピールする集団をつくることもあります。私はその最初の一人になれる人材として未来を変えたいです。

